

# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

本年度4月18日(火)に全国の中学校3年生に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。調査結果をもとに今後の本校としての取組等について評議いたしましたので、調査結果とともにお知らせいたします。

## 【全国学力・学習状況調査の概要】

### 1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容 教科に関する調査(国語、数学、英語)

「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。

「知識」に関する問題

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

「活用」に関する問題

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など。

※ 理科と英語については、3年に1度程度の実施。

## 【全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題】

### 国語

#### 全国を上回った問題の出題趣旨

- ・事象や行為、心情を表す語句について理解しているか
- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているか

#### 課題のある問題の出題趣旨

- ・目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるか
- ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるか

### 数学

#### 全国を上回った問題の出題趣旨

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるか
- ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるか

#### 課題のある問題の出題趣旨

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるか
- ・累積度数の意味を理解しているか

### 英語

#### 全国を上回った問題の出題趣旨

- ・日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるか
- ・文と文との関係を正確に読み取ることができるか

#### 課題のある問題の出題趣旨

- ・情報を正確に聞き取ることができるか
- ・社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるか
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるか

## ○今後取り組む内容

**国語**・文学的な文章を読む際には、登場人物の言動から心情を捉えた上で、自分の考えを具体的に表現する活動を充実させていく。また、論理の展開に注意しながら文章を書くことや、相手や場に応じた適切な表現ができるように言語活動を充実させていく。

**数学**・既習内容についての復習の時間を確保し、基礎的事項の理解に力を入れる。また、ICTや図などを活用しながら、データの特徴を把握し、課題に合わせた説明することができるようにする。さらに、数学の用語を使いながら、自らの考え方を数学的に説明することができるようにする。

**英語**・横浜ラウンドシステムに沿った形で進めていく中で、帯活動やラウンドの前半から聞き取り活動を充実させることで、日常的に授業内で必要な情報を聞き取る機会を設ける。また、特にラウンド4から5にかけては短い文章の読み取り活動を充実させ、概要をとらえる力を養っていく。

## 【生活習慣・学習習慣(質問紙調査結果)】

(単位は%)

	全国 (R5)	都田中 (R5)	都田中 (R4)
平日、1時間以上家庭等で勉強をしている	65.8	74.7	70.2
家庭で自主的・計画的に学習	55.0	57.3	60.2
朝食を毎日食べている	91.2	91.1	81.2
自分にはよいところがある	80.0	72.8	74.9
将来の夢や目標を持っている	66.3	59.6	62.4
人の役に立つ人間になりたいと思う	94.6	92.9	93.7

全国平均と比べて、

- ・学校の授業時間以外で、普段(月曜日から金曜日)の1日当たりの読書時間について、「まったく読書をしていない」生徒が多い→ **全国 36.8%**、**都田中 52.1%** (昨年度は 50.8%)
- ・休日、2時間以上勉強をする生徒が多い→ **全国 40.0%**、**都田中 54.4%**
- ・学校に行くのは楽しいという生徒が多い→ **全国 43.3%**、**都田中 48.4%**
- ・友達関係に満足している生徒が少ない→ **全国 55.3%**、**都田中 49.3%**
- ・地域や社会をよくするため何かしてみたい生徒が少ない→ **全国 19.6%**、**都田中 16.4%**

という結果でした。正答率は学力の特定の一部の調査であり、質問紙も教育活動の一側面に過ぎませんが、基礎・基本の定着を目標にした計画的な学習の進め方や家庭での過ごし方などに継続して取り組んでいく必要があります。

また、普段から勉強のために ICT 機器を使っていると答えた生徒の割合は全国と比較して多かったです(全国 13.4% 都田中 21.6)、授業内で「1・2年生の時に受けた授業で ICT 機器を使用するか」については差がみられました。(→ **週3回以上 全国 61.1%**、**都田中 47.9%**)

引き続き ICT を活用した授業改善についても学校全体で取組を進めていきます。

## 【個人票について】

調査を受けた3年生には、各自の調査結果を分析した個人票をすでに渡しています。ご家庭でもぜひ御覧になってください。